

その咳、逆流性食道炎かも？



逆流性食道炎は、胃酸が食道に逆流して炎症を引き起こす疾患です。この疾患は、胸やけや吞酸（酸っぱい

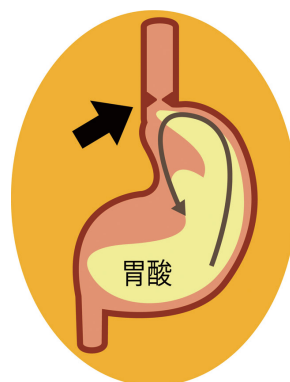
液体が上がってくる感覚）といった典型的な症状だけでなく、咳を引き起こすこともあります。咳は、胃酸が喉や気管を刺激したり、迷走神経を介して反射的に発生することで起こります。

日本における逆流性食道炎の有病率は増加傾向にあり、特に肥満や喫煙、加齢、食べ過ぎなどがリスク要因として挙げられます。また、夜間に横になることで症状が悪化しやすく、慢性的な咳の原因となることがあります。逆流性食道炎による咳の特徴としては、胸やけや喉の違和感とともに咳が出ることや、食後や就寝時に咳が悪化することが挙げられます。また、長引く乾いた咳（痰を伴わない）が見られることが多く、一般的な咳止め薬が効きにくい場合もあります。

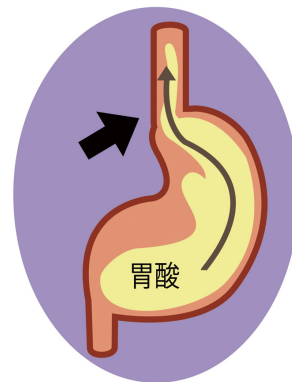
診断にはFSSG（Frequency Scale for the Symptoms of GERD）という問診票が用いら

れることがあります。このスケールでは胃酸逆流や胃もたれなどの症状を点数化し、合計8点以上で逆流性食道炎が疑われます。

健康な胃



逆流性食道炎



長引く乾いた咳や胸やけなどの症状がある場合は、逆流性食道炎が原因かもしれません。気になる方はぜひ外来を受診し、医師に相談してください。早期の診断と治療で症状を改善することが可能です。

総合診療科 秋山 真哉



とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950